

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第37週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	10歳代	女	疑似症患者	—
			90歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
		延岡	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	レジオネラ症	宮崎市	80歳代	男	肺炎型	発熱
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	50歳代	男	—	腹膜炎
	梅毒	日向	20歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	初期硬結(性器)
	百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			30歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日向	5~9歳	男	—	持続する咳

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は936人(定点当たり27.7)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

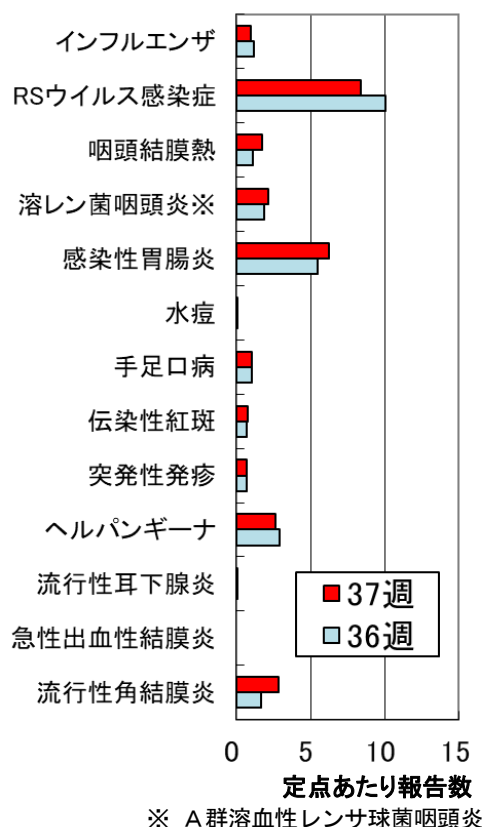
報告数は58人(0.98)で、前週比84%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.07)の約14.0倍である。延岡(3.9)、小林(3.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約7割を占めた。

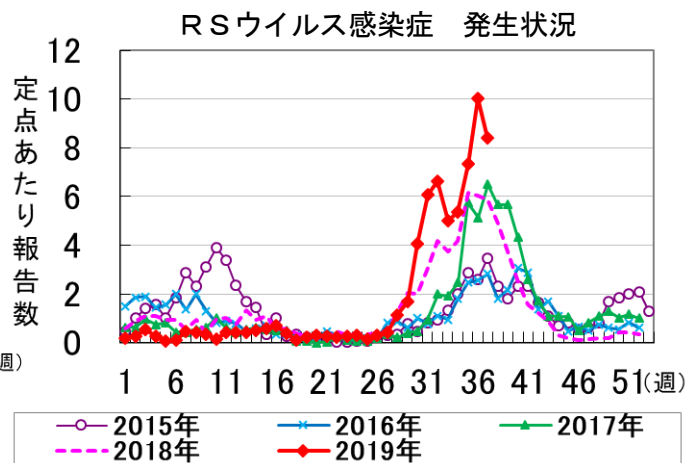
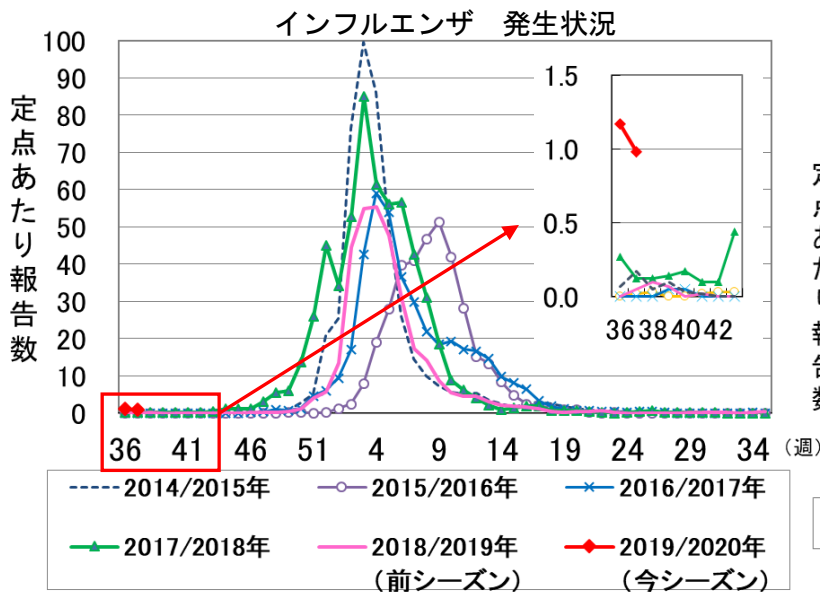
##### 【RSウイルス感染症】

報告数は303人(8.4)で、前週比84%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(3.9)の約2.2倍である。日向(16.3)、日南(14.7)、都城(8.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》





★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	咽頭結膜熱(3.7)
都城	伝染性紅斑(2.2)
延岡	ヘルパンギーナ(9.0)
日南	咽頭結膜熱(5.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

## 全国 2019 年第 36 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (全国第 36 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	326 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	153 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	5 例	回帰熱	1 例
	ジカウイルス感染症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	チクングニア熱	2 例
	デング熱	24 例	日本紅斑熱	7 例	マラリア	3 例
	レジオネラ症	59 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	16 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例
	水痘 (入院例)	2 例	梅毒	73 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	百日咳	261 例	風しん	16 例	麻しん	4 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 114%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症で、減少した主な疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は 3,813 人(0.77)で前週比 197%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.09)の約 8.6 倍である。沖縄県(34.1)、宮崎県(1.2)、千葉県(0.87)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週後週 (計 15 週) の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2019年8月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比130%と増加した。また、昨年8月(2.4)の113%であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数18人(1.4)で、前月の1.2倍、昨年8月の約1.1倍であった。

20～30歳代が全体の約8割を占めた。(男性7人・女性11人)

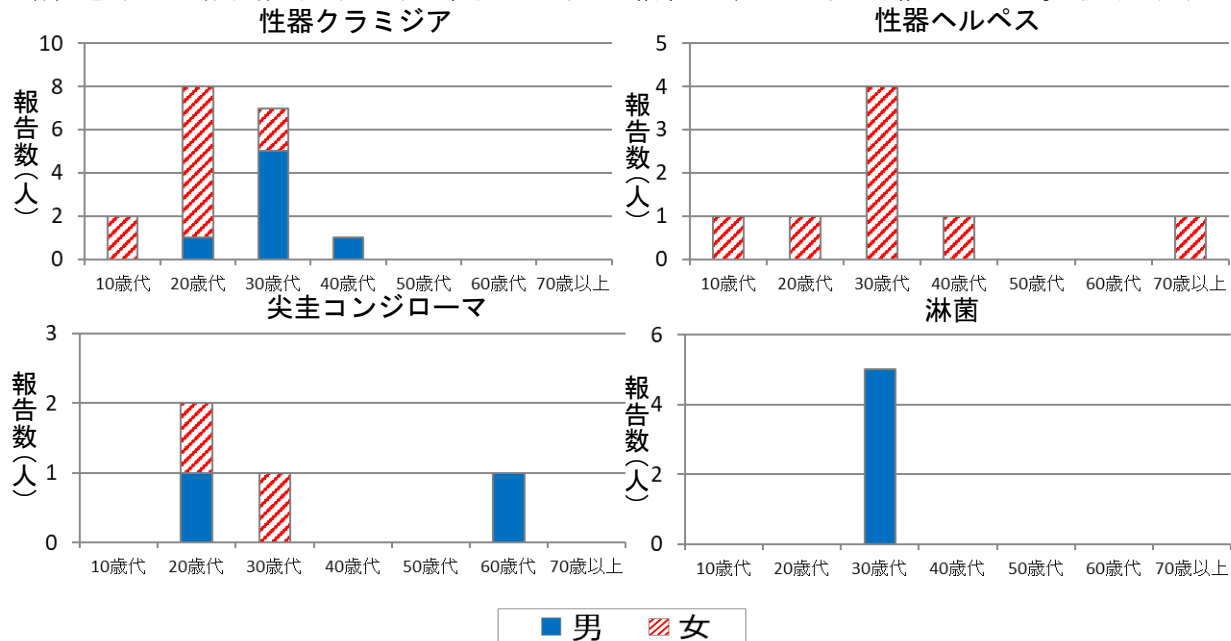
○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の1.6倍、昨年8月と同率であった。

(女性8人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月の4.0倍、昨年8月の2.0倍であった。

(男性2人・女性2人)

○淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.8倍、昨年8月の約1.3倍であった。(男性5人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,425人(4.5)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,351人(2.4)で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症798人(0.81)で前月比99%、尖圭コンジローマ530人(0.54)で前月比90%、淋菌感染症746人(0.76)で前月比99%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人(3.9)で、前月比180%と増加した。また、昨年8月(2.7)の142%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人(3.9)で、前月の1.8倍、昨年8月の1.5倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：477

定点医療機関からの報告総数は1,609人(3.4)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,471人(3.1)で前月比108%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症131人(0.27)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比33%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第37週(09月09日～09月15日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	69	58	8	4	27	1	16	1			1
	定点当り	1.17	0.98	0.50	0.40	3.86	0.20	3.20	0.17	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	361	303	76	51	18	44	12	25	4	65	8
	定点当り	10.03	8.42	7.60	8.50	4.50	14.67	4.00	6.25	4.00	16.25	8.00
咽頭結膜熱	報告数	40	63	37	4	1	15					6
	定点当り	1.11	1.75	3.70	0.67	0.25	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	67	79	21	14	11	14	2	7	1	2	7
	定点当り	1.86	2.19	2.10	2.33	2.75	4.67	0.67	1.75	1.00	0.50	7.00
感染性胃腸炎	報告数	198	225	61	51	10	21	30	15	5	25	7
	定点当り	5.50	6.25	6.10	8.50	2.50	7.00	10.00	3.75	5.00	6.25	7.00
水痘	報告数	4	4	1							3	
	定点当り	0.11	0.11	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	39	38	12	10	3	5				5	3
	定点当り	1.08	1.06	1.20	1.67	0.75	1.67	0.00	0.00	0.00	1.25	3.00
伝染性紅斑	報告数	24	28	7	13	2	1	5				
	定点当り	0.67	0.78	0.70	2.17	0.50	0.33	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	26	13	3	4	1	1	2		2	
	定点当り	0.72	0.72	1.30	0.50	1.00	0.33	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	104	94	15	5	36	15	4	5		10	4
	定点当り	2.89	2.61	1.50	0.83	9.00	5.00	1.33	1.25	0.00	2.50	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	17	13	3	1						
	定点当り	1.67	2.83	4.33	1.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～37週)

2類感染症	結核	153例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	7例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	15例(1)
	破傷風	1例	百日咳	216例(3)
	麻しん	1例		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			デング熱	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12例(1)
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	1例
			風しん	1例

( )内は今週届出分、再掲